

令和7年度 指定管理施設の管理運営に関する月次評価について

施設所管課名：経済部経済企画課

1 施設概要

施設名称	勤労福祉会館（ヴェルクよこすか）
指定管理者名	カルチャーコミュニティよこすか
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日（5年間）

2 月次評価

評価月	評価
4月	<ul style="list-style-type: none">・施設の管理運営は良好に行われている。・4月の全体利用率は29.1%（前回：28.4%）。例年春先は利用率が低下する傾向である中、4月は第5会議室の利用率が大幅に上昇。中には繰り返しご利用している利用者もおおり、ご愛顧いただいている。・自主事業については、計画どおり滞りなく実施できている。・施設の立地を生かした新たな提案も見られ、今後の進捗に期待する。
5月	<ul style="list-style-type: none">・施設の管理運営は良好に行われている。・5月の全体利用率は33.5%（前回：29.1%）。選挙関連で、選挙管理委員会の利用があったことが影響している。・自主事業については、ほとんどが計画どおり滞りなく実施できている中、やむを得ずコース中止せざるを得ない講座が1件発生した。参加者へ返金など丁寧な対応を行った結果、クレーム等の発生なく経過した点が評価できる。
6月	<ul style="list-style-type: none">・施設の管理運営は良好に行われている。・6月の全体利用率は59.4%（前回：33.5%） もとより6月は例年実績が好調な時期ではあるが、選挙管関連や健康診断等をはじめとした、一定期間の会場確保を必要とする案件が重なり、さらに利用率が高い結果となった。利用率が6割近い数値となると、希望どおりの予約が取れない利用者が発生し、一般の利用者からご意見もあったが、利用者の用途に沿った別の会場を提案するなど丁寧に対応ができています。・自主事業については滞りなく実施しており、好調。近隣小学校やこども園の協力のもと製作する「七夕飾り」は好評を得るとともに、地域との関係づくりを良好に、地域貢献ができていますと評価する。

7月	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理運営は良好に行われている。 ・7月の全体利用率は52.8%（前回：59.4%）となった。 前月に引き続き選挙関連で会場を使用していたことが影響し、高い水準となっている。なお、ホールにおいては一般利用での利用率が向上している。 ・自主事業「オテラ歌手」の歌声講座は大盛況の結果となり、参加者から大変好評を得た。近隣の高齢者施設からも参加者が集まるなど、地域へ影響を与える企画が立案できた点が大変評価できる。 ・津波警報発令という前例のない事態に直面したが、指定管理者の迅速な判断で、いち早く館内利用者の安全確保ができたこと、また、キャンセル等にも柔軟に対応したことは大変評価できる。
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理運営は良好に行われている。 ・8月の全体利用率は30.3%（前回：52.8%）となった。 選挙関連の会場確保が終了したことに伴い稼働率が平年並みとなった。なお、選挙関連の収入分を考慮すると、利用料金収入は維持できている。 ・自主事業「親子で折り紙教室」では、折り紙コーディネーターが学びと製作を両立できる場を提供し、参加者から好評を得た。 ・施設設備で予期せぬ不具合への対応が迅速かつ的確であり、また不用品の整理を細やかに行っていることから、施設の衛生・保全に寄与している。
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理運営は良好に行われている。 ・9月の全体利用率は37.6%（前回：30.3%）となった。 料金が安価である小規模の貸室や、音楽室などの利用率が好調。より安く、かつ当日駆け込みで利用できる会場のニーズが高まっている。上半期全体の稼働率は40.8%と目標値付近で推移できている。新たに発見されるニーズを手掛かりに、施設の利便性向上に向けての取組を期待する。 ・自主事業はコース制の物を実施中。滞りなく、順調に継続できている。加えて、横須賀総合高校と連携のもと、6階ギャラリーに展示している絵画の入れかえを行った。従来から関係性を継続し、地域に貢献できている点は大きく評価できる。

10月	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理運営は良好に行われている。 ・10月の全体利用率は34.1%（前回：37.6%）となった。 定員が少ない第4会議室の利用率が伸びている。当日駆け込みで利用できる会場のニーズは継続して高い傾向。収入においては、前年度同月比で初のマイナスが生じた月となった。利用率においても同様に前年度同月比でマイナスが生じた。特定の原因や事由は該当が無い。 ・施設の老朽化により配管の水漏れ等が多発したが、専門知識を有する施設職員により応急処置等の対応が迅速に行われている。細やかな手入れが施設の保全に大きく寄与している。 ・自主事業「知っておきたい終活のアレコレ」は有料かつ全4日程のコース制の講座にも関わらず、多くの参加者が集まり、好評を得た。11月より主催で開催するイベントが続くため、施設周知に大きく寄するよう期待する。
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理運営は良好に行われている。 ・11月の全体利用率は42.1%（前回：34.1%）に上昇した。要因として、健康診断等、市の事業等による会場使用が挙げられる。 ・トイレを中心に不具合が生じている。速やかに応急的な対応を実施できているとともに、事業者への修理を調整できており、利用者への影響を最小限に抑えられている点が評価できる。 ・ヴェルクまつりでは、前回よりも大きく集客を伸ばし、約2,500人が参加した。同時に、各々のブースで大変好評を得ており、計画的に周知をすすめ、全世代が楽しめる企画を開催できことは大変評価できる。
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理運営は良好に行われている。 ・12月の全体利用率は29.7%（前回：42.1%）となり、施設全体の稼働率や収入の主となってきた「ホール」や「第1会議室」の稼働率が低い結果となったことが要因として挙げられる（なお、毎年4月・8月・12月は施設全体として稼働率が下がる傾向）。 ・施設内で生じた不具合等は随時、細やかに応急対応や修繕ができています。 ・自主事業は順調に開催できており、ロビーコンサート Xmas スペシャルは250名が集まる大盛況ぶりであった。また、今年度新たに開催した「ショート動画作成術」講座は定員を超過する申込があり、参加者からも大変好評を得た。市民の関心を集め、かつ参加者の満足度が高い自主事業を企画・展開できている点は大変評価できる。

1月	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理運営は良好に行われている。 ・1月の全体利用率は29.1%（前回：29.7%）となったが、収入は前年比プラスとなっている。特筆すべき要因は該当がない。例年、選挙が実施される時期は、会議室の継続的な利用による収益が見込まれるが、今回の衆議院議員総選挙は稼働率や使用料収入には殆ど影響していない。 ・選挙関連で使用する場所については、指定管理者の判断で館内の空きスペースの提供を行うなど、柔軟かつ適切に協力体制がとれた点が非常に評価できる。 ・自主事業はコース開催のヨガ教室および英会話ともに大変好評を集めている。ヨガにおいては各回満員での開催であり、英会話においてはステップアップを求めてリピーターとなる参加者が多くみられる。自主事業を施設周知の機会と捉え、講師の選定を含めてより良い企画を展開し続けられるのは指定管理者の強みである。
2月	
3月	